

<b>科目名：小児看護学演習</b> ( Pediatric Nursing Practice ) 履修年次/時期：2 年次 後期                      授業形態： 講義・演習 担当教員： 眞田英子（実務経験有） 永谷晃子（実務経験有）		必	1 単位 (45 時間)	
学修目的	子どもと家族の看護に必要な援助方法について演習を通して学修する。 CP3 に関連する。      科目 No. KNe-219			
この科目 が目的と している DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○	
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○	
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	◎	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	○	
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○	
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP			
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. 子どものバイタルサイン測定とフィジカルアセスメントができる。 2. 子どもへの与薬方法と検体採取の基本的技術が習得できる。 3. 子どもの一次救命処置と気道異物除去について理解し、基本的な技術を修得する。 4. 事例患者の病態を理解したうえで必要な援助計画が立案でき、その時の状況に応じた援助が実施できる。 5. これまでの基礎的な学びを総括し、3 年次の小児看護学実習に向け、自己の強化すべきことが述べられる。			
授業概要	小児看護学概論や小児看護学方法論で学んだ知識を基盤とし、子どもが安全に療養生活を送るために必要な技術を演習を通して学修する。また、紙上事例を用いたワークやシミュレーション演習を通し、臨床判断力を養う。			
評価方法	演習課題（演習準備課題含む）80% 授業への参加度 20% 課題に対するフィードバックは講義及び掲示で行う。			
予習・ 復習時間	【予習】 0.5h 【復習】 0.5h			
教科書	系統看護学講座 小児看護学① 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 小児看護学② 小児臨床看護各論 医学書院 新訂版 写真でわかる小児看護技術アドバンス 医学書院			
参考書	必要時、紹介する。			
問い合わせ 連絡先	眞田英子 （3号館3階研究室） sanadai@kdu.ac.jp 毎週金曜日 16-17 時 永谷晃子 （3号館3階研究室） a.nagatani@kdu.ac.jp 毎週金曜日 16-17 時  ※この時間以外でも対応しますが、実習で不在のことがあるので、必ずアポイントメントをとってください。 直接研究室またはメールでお願いします。			

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 ( / )	科目ガイダンス 小児看護における看護過程で活用する概念 ① 活用する理論 ② 活用する概念 ③ 成長・発達の評価指標	[予習]小児看護学①小児臨床看護総論第 4 章と、写真でわかる小児看護技術アドバンス CHAPTER1、2 を通読 [復習]講義内容 [キーワード]コミュニケーション技術、フィジカルアセスメント、発達段階	講義 眞田
2 ( / )	検査や処置を受ける子どもと家族への看護 ① プレパレーションの意義 ② 小児各期にある子どもへのプレパレーションの実際 ④ 子どもの採血方法と看護 ⑤ 子どもの採尿方法と看護 ⑥ 子どもに行われる骨髄穿刺・腰椎穿刺の方法と看護 ⑦ 子どもへの与薬の特徴と方法 ⑧ 子どもの点滴静脈内注射の管理と観察	[予習]小児看護学①小児臨床看護総論 第 6 章と、写真でわかる小児看護技術アドバンス CHAPTER3,9,10,11,14 を通読 [復習]講義内容 [キーワード]ディストラクション、プレパレーション、滴下法による採血、毛細血管血採血、採血時の支え方、採尿バッグ、鎮静薬使用時の管理、骨髄穿刺部位と穿刺時の支え方、脛骨上部、前・後腸骨稜、腰椎穿刺部位と穿刺時の支え方、薬物動態、薬用量、経口与薬、座薬、注射、吸入、輸液管理、小児用輸液セット、輸液ポンプ、シーネ固定	講義 眞田
3 ( / )	健康障害をもつ子どもの家族への看護 ① きょうだい支援 ② 養育者への支援	[予習]小児看護学①小児臨床看護総論第 6 章を通読 [復習]講義内容 [キーワード] 悪性新生物、家族アセスメント、きょうだい支援	講義 眞田
4 ( / ) 5 ( / )	小児看護技術演習 (1) (2) ① 身体計測 ② おむつ交換 ③ ベッド柵の操作 ④ 点滴静脈内注射の固定	[予習]援助計画立案 [復習]講義資料、小児看護学①②、写真でわかる小児看護技術アドバンスの該当範囲 [キーワード]発達段階別測定値の目安、身体計測、おむつ交換、手背の静脈、シーネ固定、末梢の循環障害、輸液管理	演習 眞田 永谷
6 ( / )	救急救命処置が必要な子どもと家族への看護 ①子どもの一次救命処置 ②生命が危険な状況にある子どもと家族への援助	[予習] 小児看護学①小児臨床看護総論 第 6 章 C-⑩と、写真でわかる小児看護技術アドバンス CHAPTER16 を通読 [復習]講義内容 [キーワード] 2 本指法胸骨圧迫、両母指圧迫法、心肺蘇生法	講義 眞田
7 ( / )	救急救命処置が必要な子どもへの援助の実際 ①小児一次救命処置 (PBLIS)	[予習] 小児看護学①小児臨床看護総論 第 6 章 C-⑩と、写真でわかる小児看護技術アド	演習 眞田

	②異物除去・気道確保	バンス CHAPTER16 を通読 [復習]講義内容 背部叩打法、胸部・腹部突き上げ法、心肺蘇生法、2 本指法胸骨圧迫、両母指圧迫法	永谷
8 ( / )	事例演習 (1) ①フェイスシートと全体関連図作成	[予習] 提示されている事例を読み込み、各自で事例を選択してくる [キーワード] 現病歴、治療、発達段階、家族	演習 眞田 永谷
9 ( / )	事例演習 (2) ①フェイスシートと全体関連図を確認、追加・修正 ②疾患、症状、治療から必要な観察項目と援助項目の抽出 ③発達段階、家族関係をふまえた援助計画の立案	[予習] フェイスシートと全体関連図の作成 [復習] フェイスシートと全体関連図の追加・修正 [キーワード] 疾患、症状、治療、全体関連図、観察項目、発達段階、家族支援を踏まえた援助方法	演習 眞田 永谷
10 ( / )	事例演習 (3) ①各自で作成したフェイスシートと全体関連図と援助計画をグループで確認、追加・修正 ②発表会に向け、提出する全体関連図と援助計画の決定	[予習] 全体関連図と援助計画の観察項目の整合性の確認 [復習] 全体関連図と援助計画の追加・修正 [キーワード] 発達段階を踏まえた援助方法	演習 眞田 永谷
11 ( / )	事例演習 (4) ①各グループで援助計画の発表を実施	[予習] 発表会資料に目を通し、質問や意見を考えてくる [復習] 自己の記録の追加・修正 [キーワード] プレゼンテーション	演習 眞田 永谷
12 ( / )	シミュレーション演習 (1) ①シミュレーション演習の方法と課題の提示 ②課題にそって各自で全体関連図、援助計画の作成	[予習] 演習ノートの読み込み [復習] 病態関連図・援助計画の見直し [キーワード] 状況判断	演習 眞田 永谷
13 ( / )	シミュレーション演習 (2) ①各自で作成したフェイスシートと全体関連図と援助計画をグループで確認、追加・修正 ②各自が実施する援助の優先順位の決定	[予習] 全体関連図と援助計画の観察項目の整合性の確認 [復習] 全体関連図と援助計画の追加・修正 [キーワード] 優先順位	演習 眞田 永谷
14 ( / ) 15 ( / )	シミュレーション演習 (3) (4) ①グループに分かれて、状況に応じて優先順位を考えて援助を実施 ②演習での学びと今後自分が強化すべきことの確認	[復習] 観察-援助シートの修正 [キーワード] 状況設定、ブリーフィング、デブリーフィング、推論・判断、自己の強みと課題	演習 眞田 永谷